

9月定例山行

9月27～28日 三瓶山



参加者 合計 17名

S L 永谷

宮木一、熊谷修、中島康、松尾、三村、林、宮木澄、熊谷陽、中島美、
小寺、熊野、村島、島田、三浦、八木、上別祖

コースタイム

<9/27>

県庁北口発 14:30⇒三瓶北の原キャンプ場 17:00 (テント泊まり)

<9/28>

北の原 8:15→男三瓶山 9:55～10:10→女三瓶山 (昼食) 11:17～12:00→

室の池 13:05→定の松 14:30→北の原キャンプ場 15:50⇒県庁着 20:30

○

ナシはアリやナシや?

早くから準備を進め、世話をしてくら
れた若木さんが事情により参加できずと
のことでとても残念だったろう。17人が
5台の車に分乗し目的地を目指す。到着
後、テント設営、炊事と手際よく仕事を

進め、鍋料理とアルコールで大いに話も
弾む。

松尾さんの指導で秋の星空の観察会。
ときおり雲に隠れるものの今話題の火星
もその姿を見せている。

今回の山行で楽しみの第一は山よりは
ナシ!! 数年前の山行で室の内の池付近

で見つけたナシに再び会えるかどうか。付近を捜しあきらめかけた頃、やっと見つけたナシの木。

実は小粒だがかじってみるととても美味しい。ビニール袋にたくさん収穫。早速皆で食べる。僕はこれで今回の山行は終わった感じ。

下山口の定め松で、お店の側のやまぼうしの木にもものすごい数の実がついていてびっくり仰天。上別祖さん、やまぼうし酒、楽しみにしていますよ。帰りはちよつぱり睡魔と闘いながらの運転となった。(記 宮木一民)

○

県庁北参加者 17 名全員揃ったところから出発。布野道の駅まで各車高速道経由で走る。三瓶北の原キャンプ場に到着。手続きを済ませテント設営にかかる。3 つまではきばきと張れたが 4 つ目のテントで支柱の使い方を間違えややもたついていた。無事設営終了。食事の支度が済んだころ、薄暗くなるが、ブタと鯛を入れたなべを囲み酒を酌み交わし和やかな食事を終えた。キャンプファイヤー場に設置した持参の天体望遠鏡をのぞき星の観察をした。久しぶりに天の川をみた。双眼鏡でアンドロメダ星雲 M31 をとらえたが、見えたような見えないようなという感想をのべた人がいた。星雲観察は慣れないと分からないものである。

翌日、男三瓶へ向けて登山開始。姫逃池コースから登った。私は、このコースは初めてだったが、よく整備されていた。木立の中時に吹く涼しい風に吹かれなが

ら頂上を目指す。360 度開けた気持ちのいい頂上で日本海が見え、西の方向にはらくだのこぶが連なったような大江高山、はるか彼方には西中国山地の峰々が見える。記念撮影をすませ、女三瓶へ向けて縦走開始。急な下り道あり、石ゴロゴロの道ありで歩きにくい。女三瓶から男三瓶へ向かう多くの人たちと行き違いながら、女三瓶へ到着。予定より遅れたので、ここで昼食を済ます。女三瓶の頂上はリフトを使って簡単に登れるのか大変な賑わいであった。大平山との鞍部まで下り、室の内へ下りる。最近イノシシが入り込んだということで山道はあちこち掘り返されたあとがあった。しかし、ここは別世界のような静けさであった。前に来たとき梨の木があったということで探すなかなか見つからない。いばらにひっかかれながらやっと見つけた。小ぶりながら甘い梨だった。あとで標識を読んでも見ると室の内は天然記念物だから、枯葉一枚持って出ることはいけないと書いてあった。済んでしまったことは仕方がない。以後気をつけよう。子三瓶と男三瓶の鞍部から西の原へ下ったが長い道のりだった。少し足が痛くなりかけたころやっと定め松駐車場につき、回しておいた車に運転者だけを乗せ北の原キャンプ場へ車を取りにいった。全員集まったところで、テント撤収し家路に着いた。無事広島帰着。キャンプ初めての人を含め大変楽しい山行でした。久しぶりのテント泊山行で本当にリフレッシュした気分であった。

(記 松尾幸男)